

(35) ねぎ・わけねぎ(わけぎ、あさつきを除く)

病害虫	防除法	参考事項									
萎凋病	(耕種的・物理的防除) 1 発病ほ場では連作を避ける。 2 苗床はネギ連作畑に設けない。 3 発病株は早めに抜き取り、処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 定植直前に下記薬剤のいずれかを処理する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>トップジンM水和剤</td></tr><tr><td>トリフミン水和剤</td></tr></table> 2 発病初期にトップジンM水和剤を散布する。	薬剤名	トップジンM水和剤	トリフミン水和剤	○ 石灰を施し、酸度を矯正する。生育中は pH6.5 以上で発病が少ない。						
薬剤名											
トップジンM水和剤											
トリフミン水和剤											
黒腐菌核病	(耕種的・物理的防除) 1 苗床は無病地を選ぶ。発病ほ場には 4～5 年間苗床は作らない。 2 2～3 年間隔で輪作する。 3 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。 4 病株は速やかにほ場外で処分する。菌核が形成される前に抜き取る。 5 病原菌は酸性土壌でよく生育するため、石灰資材を施して pH7.0 以上に矯正する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 ディ・トラベックス油剤またはバスアミド/ガスタード微粒剤で土壌消毒を行う(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 2 セル成形育苗トレイまたはペーパーポット苗の場合は、育苗期に下記薬剤をかん注する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>パレード20フロアブル</td></tr></table> 3 土寄せ前に下記薬剤のいずれかを処理する。気温が 20℃以下に低下する頃(9～10月)に1回目の処理を行う。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アフエットフロアブル</td></tr><tr><td>ケンジャフロアブル</td></tr><tr><td>スミレックス水和剤</td></tr><tr><td>セイビアーフロアブル20</td></tr><tr><td>パレード20フロアブル</td></tr><tr><td>モンガリット粒剤</td></tr></table>	薬剤名	パレード20フロアブル	薬剤名	アフエットフロアブル	ケンジャフロアブル	スミレックス水和剤	セイビアーフロアブル20	パレード20フロアブル	モンガリット粒剤	○ 病原菌の菌糸は低温(5～20℃)で生育する。秋冬ネギでは年明け後に発病が進展することが多い。 ○ 罹病株に形成された菌核が伝染源となる。菌核は土中で数年以上生存するとされている。
薬剤名											
パレード20フロアブル											
薬剤名											
アフエットフロアブル											
ケンジャフロアブル											
スミレックス水和剤											
セイビアーフロアブル20											
パレード20フロアブル											
モンガリット粒剤											

病害虫	防除法	参考事項
黒斑病	(予防に関する措置)	
	1 雨よけ栽培を行う。	
	2 多発ほ場では、連作を避ける。	
	3 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。	
	4 多湿条件下で発生しやすいことから、ほ場の排水を良好に保ち、風通しを良くするために、密植を避ける。	
	5 窒素過多及び肥料切れを避ける。	
	(判断、防除に関する措置)	
	1 発病株を速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。	
	2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。	
	3 作物残さを適切に処分する。	
	(薬剤防除) 農業登録情報	
	1 発病初期に下記薬剤のいずれかを 10 日おきに散布する。	
	薬剤名	備考
	アフエットフロアブル	
	オキシラン水和剤	
	ストロビーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。
ダコニール 1000		
パレード 20 フロアブル		
ファンタジスタ顆粒水和剤		
ベルクト水和剤		
ポリオキシシン AL 水和剤		
ポリベリン水和剤		
メジャーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	
ロブラール水和剤		

病害虫	防除法	参考事項																																
さび病	(予防に関する措置) 1 雨よけ栽培を行う。 2 肥料切れにならないよう、適正な施肥管理を行う。 3 窒素過多を避ける。 (判断、防除に関する措置) 1 発病株を速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病ごく初期から、下記薬剤のいずれかを7～10日おきに散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>アフエットフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>アミスター20フロアブル</td><td>浸透性を高める展着剤との混用は避ける。</td></tr><tr><td>イオウフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>オンリーワンフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>カナメフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>カリグリーン</td><td></td></tr><tr><td>サブロール乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ジマンダイセン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ストロビーフロアブル</td><td>浸透性を高める展着剤との混用は避ける。</td></tr><tr><td>ハーモメイト水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ベルコート水和剤</td><td></td></tr><tr><td>メジャーフロアブル</td><td>浸透性を高める展着剤との混用は避ける。</td></tr><tr><td>ラリー乳剤</td><td></td></tr><tr><td>サブロール/セーフガード乳剤</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	アフエットフロアブル		アミスター20フロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	イオウフロアブル		オンリーワンフロアブル		カナメフロアブル		カリグリーン		サブロール乳剤		ジマンダイセン水和剤		ストロビーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	ハーモメイト水溶剤		ファンタジスタ顆粒水和剤		ベルコート水和剤		メジャーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	ラリー乳剤		サブロール/セーフガード乳剤		
薬剤名	備考																																	
アフエットフロアブル																																		
アミスター20フロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。																																	
イオウフロアブル																																		
オンリーワンフロアブル																																		
カナメフロアブル																																		
カリグリーン																																		
サブロール乳剤																																		
ジマンダイセン水和剤																																		
ストロビーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。																																	
ハーモメイト水溶剤																																		
ファンタジスタ顆粒水和剤																																		
ベルコート水和剤																																		
メジャーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。																																	
ラリー乳剤																																		
サブロール/セーフガード乳剤																																		
小菌核腐敗病	(耕種的・物理的防除) 1 ほ場の排水を良くする。 2 苗の枯死葉を丁寧に取り除いてから定植する。 3 多肥栽培を避け、適切な肥培管理を行う。 4 発生ほ場では、早期出荷を心がける。 5 発病株は畑から持ち去り、処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 ベンレート水和剤をかん注する。 2 土寄せ時に下記薬剤のいずれかを株元によくかかるように散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>アフエットフロアブル</td></tr><tr><td>ダコニール1000</td></tr><tr><td>トップジンM水和剤</td></tr><tr><td>パレード20フロアブル</td></tr><tr><td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td></tr><tr><td>フルピカフロアブル</td></tr><tr><td>フロンサイド粉剤</td></tr><tr><td>ポリベリン水和剤</td></tr><tr><td>ロブラール水和剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	アフエットフロアブル	ダコニール1000	トップジンM水和剤	パレード20フロアブル	ファンタジスタ顆粒水和剤	フルピカフロアブル	フロンサイド粉剤	ポリベリン水和剤	ロブラール水和剤	○ 7～10月の気温が低く、11～12月の降水量が多い年に多発する。																						
薬剤名																																		
アフエットフロアブル																																		
ダコニール1000																																		
トップジンM水和剤																																		
パレード20フロアブル																																		
ファンタジスタ顆粒水和剤																																		
フルピカフロアブル																																		
フロンサイド粉剤																																		
ポリベリン水和剤																																		
ロブラール水和剤																																		

病害虫	防除法	参考事項																												
白絹病	(耕種的・物理的防除) 1 発病ほ場には連作をせず、イネ科作物を作付けする。 2 発病株は抜き取り、ほ場外の地中に深く埋める。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 土壌消毒を行う場合は、共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照する。 2 発病初期あるいは土寄せ時に下記薬剤のいずれかを処理する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>使用方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>アフエットフロアブル</td><td>散布</td></tr><tr><td>カナメフロアブル</td><td>株元散布</td></tr><tr><td>バリダシン液剤5</td><td>株元散布</td></tr><tr><td>フロンサイド粉剤</td><td>土寄せ時株元散布</td></tr><tr><td>メジャーフロアブル</td><td>散布</td></tr><tr><td>モンカット粒剤</td><td>土寄せ時株元散布</td></tr><tr><td>モンカットフロアブル40</td><td>土寄せ時株元散布</td></tr><tr><td>モンガリット粒剤</td><td>土寄せ時株元散布</td></tr><tr><td>リゾレックス粉剤</td><td>土寄せ前株元散布</td></tr></tbody></table> 3 アフエットフロアブルを株元かん注する。	薬剤名	使用方法	アフエットフロアブル	散布	カナメフロアブル	株元散布	バリダシン液剤5	株元散布	フロンサイド粉剤	土寄せ時株元散布	メジャーフロアブル	散布	モンカット粒剤	土寄せ時株元散布	モンカットフロアブル40	土寄せ時株元散布	モンガリット粒剤	土寄せ時株元散布	リゾレックス粉剤	土寄せ前株元散布	○ クロルピクリンくん蒸剤を用いる場合、必ずポリエチレンフィルム等で被覆する。石灰を施用する場合は10日以上あけて処理する。なお、窒素肥料は20～30%減らす。								
薬剤名	使用方法																													
アフエットフロアブル	散布																													
カナメフロアブル	株元散布																													
バリダシン液剤5	株元散布																													
フロンサイド粉剤	土寄せ時株元散布																													
メジャーフロアブル	散布																													
モンカット粒剤	土寄せ時株元散布																													
モンカットフロアブル40	土寄せ時株元散布																													
モンガリット粒剤	土寄せ時株元散布																													
リゾレックス粉剤	土寄せ前株元散布																													
葉枯病	(耕種的・物理的防除) 1 多肥栽培を避け、適切な肥培管理を行う。 2 土壌pHを下げないように管理する。 (薬剤防除) 農薬登録情報【黄斑病】・【葉枯病】 1 発病初期から下記薬剤のいずれかを7～10日おきに散布する。 【黄斑病】 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>アミスター20フロアブル</td><td>浸透性を高める展着剤との混用は避ける。</td></tr><tr><td>ストロビーフロアブル</td><td>浸透性を高める展着剤との混用は避ける。</td></tr><tr><td>ポリベリン水和剤</td><td></td></tr></tbody></table> 【葉枯病】 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>アフエットフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>アミスター20フロアブル</td><td>浸透性を高める展着剤との混用は避ける。</td></tr><tr><td>ダコニール1000</td><td></td></tr><tr><td>テーク水和剤</td><td></td></tr><tr><td>パレード20フロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ファンタジスタ顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ベルコート水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ポリベリン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>メジャーフロアブル</td><td>浸透性を高める展着剤との混用は避ける。</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	アミスター20フロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	ストロビーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	ポリベリン水和剤		薬剤名	備考	アフエットフロアブル		アミスター20フロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	ダコニール1000		テーク水和剤		パレード20フロアブル		ファンタジスタ顆粒水和剤		ベルコート水和剤		ポリベリン水和剤		メジャーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	○ 病徴として、外葉に形成される黒斑病と類似の褐色楕円形病斑と中心葉に形成される黄色斑紋病斑(黄斑病)の2種類がある。
薬剤名	備考																													
アミスター20フロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。																													
ストロビーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。																													
ポリベリン水和剤																														
薬剤名	備考																													
アフエットフロアブル																														
アミスター20フロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。																													
ダコニール1000																														
テーク水和剤																														
パレード20フロアブル																														
ファンタジスタ顆粒水和剤																														
ベルコート水和剤																														
ポリベリン水和剤																														
メジャーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。																													

病害虫	防除法	参考事項																								
べと病	(予防に関する措置) 1 雨よけ栽培を行う。 2 多発ほ場では、連作を避ける。 3 ほ場の排水を良好に保つ。 4 風通しを良好に保つ。 (判断、防除に関する措置) 1 発病株を速やかに除去し、ほ場外で適切に処分する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 「ネギべと病なび」による発生予測や、薬剤防除の要否、散布時期の把握等を活用する。 4 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病ごく初期から、下記薬剤のいずれかを5～7日おきに2～3回散布する。必ず展着剤を加用する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>アミスター20フロアブル</td><td>浸透性を高める展着剤との混用は避ける。</td></tr><tr><td>アリエッティ水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ザンプロDMフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>ダコニール1000</td><td></td></tr><tr><td>ピシロックフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>フェスティバル水和剤</td><td></td></tr><tr><td>メジャーフロアブル</td><td>浸透性を高める展着剤との混用は避ける。</td></tr><tr><td>ユニフォーム粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ランマンフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>リドミルゴールドMZ</td><td></td></tr><tr><td>レーバスフロアブル</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	アミスター20フロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	アリエッティ水和剤		ザンプロDMフロアブル		ダコニール1000		ピシロックフロアブル		フェスティバル水和剤		メジャーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。	ユニフォーム粒剤		ランマンフロアブル		リドミルゴールドMZ		レーバスフロアブル		○ 秋冬ネギでは、8月の気温が低いと発生しやすい。 ○ 「ネギべと病なび」による発生予測や、薬剤防除の要否、散布時期の把握が可能である。
薬剤名	備考																									
アミスター20フロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。																									
アリエッティ水和剤																										
ザンプロDMフロアブル																										
ダコニール1000																										
ピシロックフロアブル																										
フェスティバル水和剤																										
メジャーフロアブル	浸透性を高める展着剤との混用は避ける。																									
ユニフォーム粒剤																										
ランマンフロアブル																										
リドミルゴールドMZ																										
レーバスフロアブル																										
軟腐病	(耕種的・物理的防除) 1 排水を良くする。 2 被害株はほ場に残さないよう、早めにはほ場外に埋める。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 微生物殺菌剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>マスタピース水和剤</td></tr></tbody></table> 2 下記薬剤のいずれかを天候に応じて散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>Zボルドー</td></tr><tr><td>オリゼメート粒剤</td></tr><tr><td>カセット水和剤</td></tr><tr><td>スターナ水和剤</td></tr><tr><td>ナレート水和剤</td></tr><tr><td>バリダシン液剤5</td></tr></tbody></table>	薬剤名	マスタピース水和剤	薬剤名	Zボルドー	オリゼメート粒剤	カセット水和剤	スターナ水和剤	ナレート水和剤	バリダシン液剤5	○ 風を伴う雨により、まん延する。															
薬剤名																										
マスタピース水和剤																										
薬剤名																										
Zボルドー																										
オリゼメート粒剤																										
カセット水和剤																										
スターナ水和剤																										
ナレート水和剤																										
バリダシン液剤5																										

病害虫	防除法	参考事項
萎縮病	(耕種的・物理的防除) 1 苗床、幼苗のうちから細網をかけるなどしてアブラムシの飛来と、これによる伝播を防ぐ。 2 ねぎ、にんにくの近くに苗床を作らない。 3 ウイルスフリー苗を用いる。 (薬剤防除) 本項のアブラムシ類の防除の項を参照する。	○ 株ねぎの場合、苗は健全株からとる。

病害虫	防除法	参考事項																																																												
ネギアザミウマ	(予防に関する措置) 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 2 露地栽培では光反射資材によるマルチによる被覆を、施設栽培では防虫ネットによる被覆及び施設周囲への光反射シートの敷設を行う。 3 マルチの敷設により、土中での蛹化を防ぐ。 4 施設栽培では、施設内への侵入防止のため、紫外線除去フィルムを使用する。 (判断、防除に関する措置) 1 粘着シート等による誘殺を行い、発生状況の早期把握に努める。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 4 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>アクタラ粒剤 5</td><td></td></tr><tr><td>アドマイヤー 1 粒剤</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ベストガード粒剤</td><td></td></tr><tr><td>モスビラン粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ブリロッソ粒剤オメガ</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>ダイアジノン乳剤 4 0</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>トクチオン乳剤</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>アグロスリン乳剤</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>リーフガード顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>アクタラ顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>アドマイヤーフロアブル</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ベストガード水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>モスビラン顆粒水溶剤</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>ベリマーク SC</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>ベネビア OD</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>アグリメック</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>ディアナ SC</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>アタブロン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>カスケード乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ウララ DF</td><td></td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ハチハチ乳剤</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>グレーシア乳剤</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>ファインセーブフロアブル</td><td>アザミウマ類で登録</td></tr><tr><td>ブレオフロアブル</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	アクタラ粒剤 5		アドマイヤー 1 粒剤	アザミウマ類で登録	スタークル/アルバリン粒剤	アザミウマ類で登録	ダントツ粒剤		ベストガード粒剤		モスビラン粒剤		ブリロッソ粒剤オメガ	アザミウマ類で登録	ダイアジノン乳剤 4 0	アザミウマ類で登録	トクチオン乳剤	アザミウマ類で登録	アグロスリン乳剤	アザミウマ類で登録	リーフガード顆粒水和剤		アクタラ顆粒水溶剤		アドマイヤーフロアブル	アザミウマ類で登録	ダントツ水溶剤		ベストガード水溶剤		モスビラン顆粒水溶剤	アザミウマ類で登録	ベリマーク SC	アザミウマ類で登録	ベネビア OD	アザミウマ類で登録	アグリメック	アザミウマ類で登録	スピノエース顆粒水和剤	アザミウマ類で登録	ディアナ SC	アザミウマ類で登録	アタブロン乳剤		カスケード乳剤		ウララ DF		コルト顆粒水和剤		ハチハチ乳剤	アザミウマ類で登録	グレーシア乳剤	アザミウマ類で登録	ファインセーブフロアブル	アザミウマ類で登録	ブレオフロアブル		○ 梅雨明け後の高温乾燥期に多発する。
薬剤名	備考																																																													
アクタラ粒剤 5																																																														
アドマイヤー 1 粒剤	アザミウマ類で登録																																																													
スタークル/アルバリン粒剤	アザミウマ類で登録																																																													
ダントツ粒剤																																																														
ベストガード粒剤																																																														
モスビラン粒剤																																																														
ブリロッソ粒剤オメガ	アザミウマ類で登録																																																													
ダイアジノン乳剤 4 0	アザミウマ類で登録																																																													
トクチオン乳剤	アザミウマ類で登録																																																													
アグロスリン乳剤	アザミウマ類で登録																																																													
リーフガード顆粒水和剤																																																														
アクタラ顆粒水溶剤																																																														
アドマイヤーフロアブル	アザミウマ類で登録																																																													
ダントツ水溶剤																																																														
ベストガード水溶剤																																																														
モスビラン顆粒水溶剤	アザミウマ類で登録																																																													
ベリマーク SC	アザミウマ類で登録																																																													
ベネビア OD	アザミウマ類で登録																																																													
アグリメック	アザミウマ類で登録																																																													
スピノエース顆粒水和剤	アザミウマ類で登録																																																													
ディアナ SC	アザミウマ類で登録																																																													
アタブロン乳剤																																																														
カスケード乳剤																																																														
ウララ DF																																																														
コルト顆粒水和剤																																																														
ハチハチ乳剤	アザミウマ類で登録																																																													
グレーシア乳剤	アザミウマ類で登録																																																													
ファインセーブフロアブル	アザミウマ類で登録																																																													
ブレオフロアブル																																																														

病害虫	防除法	参考事項															
アブラムシ類	(予防に関する措置) 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 2 育苗期間中に、防虫ネット、べたがけ資材等により被覆する。 3 有翅虫の飛来を防止するため、光反射資材によるマルチ若しくはシルバーテープ又は風上方向に防風垣若しくは防風ネットを設置する。 4 施設栽培では、施設内への侵入防止のため、紫外線除去フィルムを使用する。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 (薬剤防除) 農業登録情報 1 気門封鎖剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>エコビタ液剤</td></tr><tr><td>オレート液剤</td></tr><tr><td>サフオイル乳剤</td></tr><tr><td>サンクリスタル乳剤</td></tr><tr><td>粘着くん液剤</td></tr><tr><td>フーモン</td></tr><tr><td>ムシラップ</td></tr></table> 2 下記薬剤のいずれかを天候に応じて散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>エルサン乳剤</td></tr><tr><td>スミチオン乳剤</td></tr><tr><td>ダイアジノン水和剤 3 4</td></tr><tr><td>ダイアジノン乳剤 4 0</td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td></tr><tr><td>ハチハチ乳剤</td></tr></table>	薬剤名	エコビタ液剤	オレート液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	粘着くん液剤	フーモン	ムシラップ	薬剤名	エルサン乳剤	スミチオン乳剤	ダイアジノン水和剤 3 4	ダイアジノン乳剤 4 0	コルト顆粒水和剤	ハチハチ乳剤	
薬剤名																	
エコビタ液剤																	
オレート液剤																	
サフオイル乳剤																	
サンクリスタル乳剤																	
粘着くん液剤																	
フーモン																	
ムシラップ																	
薬剤名																	
エルサン乳剤																	
スミチオン乳剤																	
ダイアジノン水和剤 3 4																	
ダイアジノン乳剤 4 0																	
コルト顆粒水和剤																	
ハチハチ乳剤																	

病害虫	防除法	参考事項																													
シロイチモジ ヨトウ	(予防に関する措置) 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 4 交信かく乱剤を使用する。 5 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 4 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 交信かく乱剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ヨトウコンーS</td></tr><tr><td>コンフューザーV</td></tr></table> 2 BT 剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>エコマスターBT</td></tr><tr><td>ジャックポット顆粒水和剤</td></tr><tr><td>デルフィン顆粒水和剤</td></tr><tr><td>フローバックDF</td></tr></table> 3 下記薬剤のいずれかを処理する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>トレボン乳剤</td></tr><tr><td>テルスター水和剤</td></tr><tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td></tr><tr><td>プレバソnfフロアブル5</td></tr><tr><td>アニキ乳剤</td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td></tr><tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td></tr><tr><td>アタブロン乳剤</td></tr><tr><td>カスケード乳剤</td></tr><tr><td>グレーシア乳剤</td></tr><tr><td>ノーモルト乳剤</td></tr><tr><td>ファルコンフロアブル</td></tr><tr><td>マッチ乳剤</td></tr><tr><td>ロムダンフロアブル</td></tr><tr><td>コテツフロアブル</td></tr><tr><td>トルネードエースDF</td></tr><tr><td>ブレオフロアブル</td></tr><tr><td>グレーシア乳剤</td></tr><tr><td>ブロフレアSC</td></tr><tr><td>ディアナSC</td></tr></table>	薬剤名	ヨトウコンーS	コンフューザーV	薬剤名	エコマスターBT	ジャックポット顆粒水和剤	デルフィン顆粒水和剤	フローバックDF	薬剤名	トレボン乳剤	テルスター水和剤	フェニックス顆粒水和剤	プレバソnfフロアブル5	アニキ乳剤	アフーム乳剤	スピノエース顆粒水和剤	アタブロン乳剤	カスケード乳剤	グレーシア乳剤	ノーモルト乳剤	ファルコンフロアブル	マッチ乳剤	ロムダンフロアブル	コテツフロアブル	トルネードエースDF	ブレオフロアブル	グレーシア乳剤	ブロフレアSC	ディアナSC	
薬剤名																															
ヨトウコンーS																															
コンフューザーV																															
薬剤名																															
エコマスターBT																															
ジャックポット顆粒水和剤																															
デルフィン顆粒水和剤																															
フローバックDF																															
薬剤名																															
トレボン乳剤																															
テルスター水和剤																															
フェニックス顆粒水和剤																															
プレバソnfフロアブル5																															
アニキ乳剤																															
アフーム乳剤																															
スピノエース顆粒水和剤																															
アタブロン乳剤																															
カスケード乳剤																															
グレーシア乳剤																															
ノーモルト乳剤																															
ファルコンフロアブル																															
マッチ乳剤																															
ロムダンフロアブル																															
コテツフロアブル																															
トルネードエースDF																															
ブレオフロアブル																															
グレーシア乳剤																															
ブロフレアSC																															
ディアナSC																															

病害虫	防除法	参考事項								
タマネギバエ、 タネバエ	(薬剤防除) 農薬登録情報【タマネギバエ】・【タネバエ】 1 タマネギバエにはデミリン水和剤を株元かん注する。又は、ダイアジノン乳剤40を散布する。 2 タネバエにはスタークル/アルバリン顆粒水溶剤をかん注する。 3 タネバエにはダイアジノン粒剤3を土壌混和する。									
トビイロヒョ ウタンゾウム シ	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 スタークル/アルバリン顆粒水溶剤を株元かん注する。									
ネギコガ	(予防に関する措置) 1 幼虫は葉内を加害することから、防虫ネット等の活用により、葉内への潜入防止に努める。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アグロスリン乳剤</td></tr><tr><td>アディオン乳剤</td></tr><tr><td>ディアナSC</td></tr><tr><td>ハチハチ乳剤</td></tr><tr><td>ブレバソフロアブル5</td></tr><tr><td>トクチオン乳剤</td></tr><tr><td>ベネビアOD</td></tr></table>	薬剤名	アグロスリン乳剤	アディオン乳剤	ディアナSC	ハチハチ乳剤	ブレバソフロアブル5	トクチオン乳剤	ベネビアOD	
薬剤名										
アグロスリン乳剤										
アディオン乳剤										
ディアナSC										
ハチハチ乳剤										
ブレバソフロアブル5										
トクチオン乳剤										
ベネビアOD										

病害虫	防除法	参考事項																										
ネギハモグリバエ	(予防に関する措置) 1 施設栽培では、施設開口部を防虫ネット、寒冷紗等により被覆する。 2 施設栽培では、施設内への侵入防止のため、紫外線除去フィルムを使用する。 (判断、防除に関する措置) 1 粘着シート等による誘殺を行い、成虫の発生時期及び発生量の早期把握に努める。 2 施設栽培では、成虫の密度低下のため、粘着シート等を多数設置する。 3 被害葉及び作物残さは、速やかに適切に処分する。 4 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、適期に薬剤散布等を実施する。 (薬剤防除) 農業登録情報 1 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td></tr><tr><td>ベストガード粒剤</td></tr><tr><td>ミネクトデュオ粒剤</td></tr><tr><td>モスピラン粒剤</td></tr></tbody></table> 2 生育期には下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>アクタラ顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td></tr><tr><td>カスケード乳剤</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td></tr><tr><td>ダイアジノン乳剤40</td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td></tr><tr><td>ディアナSC</td></tr><tr><td>ベストガード粒剤</td></tr><tr><td>ベネビアOD</td></tr><tr><td>リーフガード顆粒水和剤</td></tr><tr><td>トクチオン乳剤</td></tr></tbody></table> 3 下記薬剤のいずれかをかん注処理する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>使用方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>アドマイヤーフロアブル</td><td>セル成型育苗トレイ またはペーパーポットへのかん注</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td><td>セル成型育苗トレイ またはペーパーポットへのかん注 株元かん注</td></tr><tr><td>ベリマークSC</td><td>セル成型育苗トレイ またはペーパーポットへのかん注</td></tr></tbody></table>	薬剤名	スタークル/アルバリン粒剤	ダントツ粒剤	ベストガード粒剤	ミネクトデュオ粒剤	モスピラン粒剤	薬剤名	アクタラ顆粒水溶剤	アフーム乳剤	カスケード乳剤	スタークル/アルバリン粒剤	ダイアジノン乳剤40	ダントツ水溶剤	ディアナSC	ベストガード粒剤	ベネビアOD	リーフガード顆粒水和剤	トクチオン乳剤	薬剤名	使用方法	アドマイヤーフロアブル	セル成型育苗トレイ またはペーパーポットへのかん注	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	セル成型育苗トレイ またはペーパーポットへのかん注 株元かん注	ベリマークSC	セル成型育苗トレイ またはペーパーポットへのかん注	○ ミネクトデュオ粒剤、アフーム乳剤、スタークル/アルバリン粒剤、ベネビアOD、ベリマークSCはハモグリバエ類の登録である。 ○ 従来と異なる系統のネギハモグリバエ（別系統）が県内各所において発生している。従来の系統と比べて食害が激しく、多発生すると甚大な被害となるため、予防的な防除に努める。
薬剤名																												
スタークル/アルバリン粒剤																												
ダントツ粒剤																												
ベストガード粒剤																												
ミネクトデュオ粒剤																												
モスピラン粒剤																												
薬剤名																												
アクタラ顆粒水溶剤																												
アフーム乳剤																												
カスケード乳剤																												
スタークル/アルバリン粒剤																												
ダイアジノン乳剤40																												
ダントツ水溶剤																												
ディアナSC																												
ベストガード粒剤																												
ベネビアOD																												
リーフガード顆粒水和剤																												
トクチオン乳剤																												
薬剤名	使用方法																											
アドマイヤーフロアブル	セル成型育苗トレイ またはペーパーポットへのかん注																											
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	セル成型育苗トレイ またはペーパーポットへのかん注 株元かん注																											
ベリマークSC	セル成型育苗トレイ またはペーパーポットへのかん注																											
ネキリムシ類	(薬剤防除) 農業登録情報 下記薬剤のいずれかを使用する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>アクセルベイト</td></tr><tr><td>カルホス微粒剤F</td></tr><tr><td>ネキリエースK</td></tr><tr><td>フォース粒剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	アクセルベイト	カルホス微粒剤F	ネキリエースK	フォース粒剤																						
薬剤名																												
アクセルベイト																												
カルホス微粒剤F																												
ネキリエースK																												
フォース粒剤																												

病害虫	防除法	参考事項						
ネダニ	(耕種的・物理的防除) 1 酸性土壌は、は種前に中和する。 2 植物の遺体などの腐敗物に誘引されるので、未熟の堆肥の施用を避け、病害の発生を予防する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発生が予想されるときはフォース粒剤を作条土壌混和、トクチオン細粒剤Fを植溝土壌混和、又はジュリボフロアブルをかん注する。 2 発生初期に下記薬剤のいずれかを株元散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td></tr><tr><td>フォース粒剤</td></tr></table> 3 発生初期に下記薬剤のいずれかを株元かん注する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アブロードフロアブル</td></tr><tr><td>トクチオン乳剤</td></tr></table>	薬剤名	ダントツ粒剤	フォース粒剤	薬剤名	アブロードフロアブル	トクチオン乳剤	○ 株元散布は土寄せ前に行う。
薬剤名								
ダントツ粒剤								
フォース粒剤								
薬剤名								
アブロードフロアブル								
トクチオン乳剤								